

伽藍再建工事始まる

地鎮祭



圓福寺報

圓福寺報 第七十一号
 平成二十九年七月十五日発行
 発行者 臨濟宗妙心寺派 圓福寺
 千葉市稲毛区六川町三七五 TEL (二五二) 九一八一
<http://www.chiba-enpukuji.com>
 E-mail: oshou@chiba-enpukuji.com

「再建だより」九号との合併号

目次 頁

「僧堂で何してる？」その二 2

――修行道場の生活

三巡目第二回 4

四国あるき遍路の旅

四国あるき遍路のご案内 10

第四十二回花園会ゴルフ 11

墓地の空きがあります。 11

檀信徒の動静 11

大宮台 佐野 道子さん

平成二十八年度花園会会計報告 11

お寺と和尚の記録抄 12

六川花園幼稚園 園だよりから

「人間の証明」 13

「再建だより」第九号

※裏表紙から始まります。
 再建だよりの目次も裏表紙にあります。

~ 14

その二

僧堂で何してる？

一一一修行道場の生活

開板

時鐘

■専門用語解説

【僧堂】(そうどう)

禅宗の専門道場のこと。全国に四十二ヶ所あります。

【掛搭】(かとう)

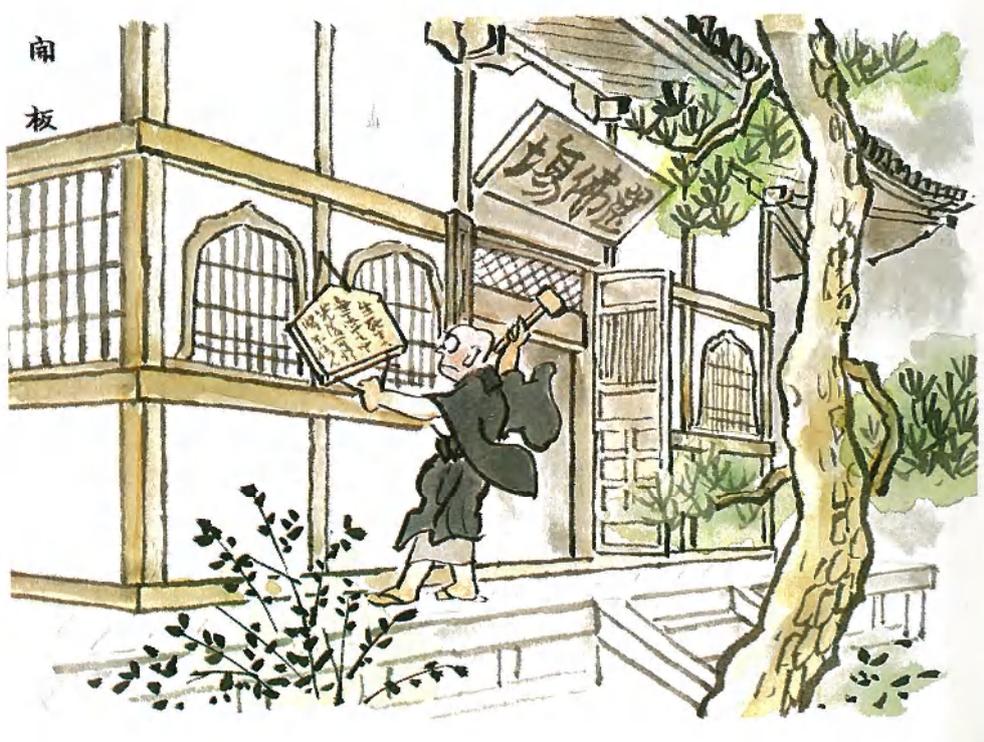
自分の衣鉢などを僧堂の決まった場所に掛けることで、僧堂に入門することをいいます。

【公案】(こうあん)

修行僧を悟りに導くため、祖師の言行をもとに課題として与えられる問題のこと。師と弟子との間でやりとりが、「禅問答」と言われます。

【百丈禪師】

七二〇?〜八一四、唐の時代の禅僧。作務を大切にされ、今日の禅寺の基礎を築かれた。「一日作さざれば、一日食らわず。」の戒めは有名です。



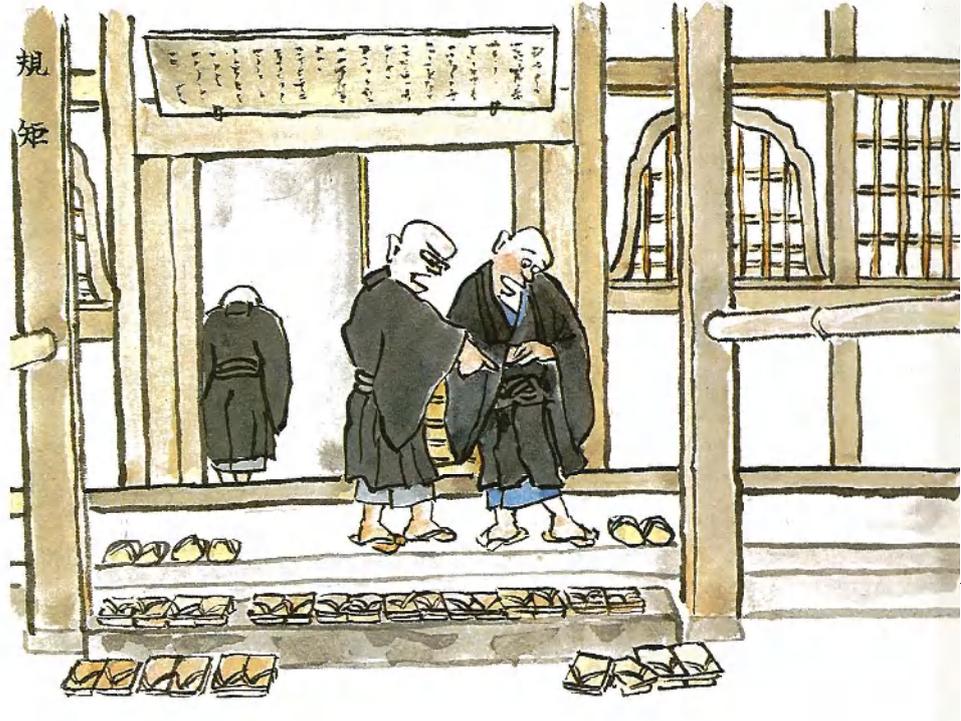
開板

禅堂前門ぜんもんの扉の脇には厚い樺けやきの木板もくばんが吊り下げられていて、時を知らすために日に幾度か七、五、三に打ち鳴らされる。起床から就寝まで、この時鐘ともいふべき開板かいばんをはじめ、数々の「鳴らしもの」の合図で律せられる雲水の行住ぎょうじゅう坐臥ざがは、まったく峻烈厳格そのものといえるだろう。

また、仲間の日常生活のすべては、いくつかの役寮やくりょうの肩にかかっている。すなわち、堂内の大衆だいしゅうは侍者寮じしやりょうの監督、世話を受け、道場全般の運営は、知客しかくの他に副司ふし(会計)、典座てんざ(炊事)、殿司てんす(仏殿の係)、三応さんおう(老師の世話)、副随ふずい(接客、雑務)などの係によって行なわれ、いずれも久参きゅうさんの雲水がその任にあたり半年ごとに交代する。

このように無駄や雑音の除かれた環境で公案こうあん一途に集約され、各自が譲りあい、いましめあい、勤めあって真の自由な人間像が練り上げられてゆく。

禅堂の後門を出ると、東司（とうす）というトイレがあります。東司に向かう両側に太い竹が渡されていて、ここに各自のタオルを決められた場所にかけることになっています。タオルのかけ方も決まっています。曲がっていたり、タオルの下はしがそろっていないかたりすると、すぐに怒られます。「一事が万事」と言われて、タオルのかけ方なんていう些細なことからきちんとしなければなりません。



規矩

諸法度

禅堂後門上の禅堂規則をはじめ、道場内いたるところに諸法度条々の掲額が眼にとまる。これは、僧堂生活のすべてが、今日もなお厳然と、百丈禅師という禅堂制度の創始者が定めた僧堂憲法、「百丈清規」を基盤にしている何よりの証拠。

むずかしい法式の類から箸のあげおろし、下駄のぬぎ方まで出処進退ことごとく規則づくめだ。自由奔放の娑婆からとびこんできた新到どもにはまったく窮屈至極だが、これも真剣に勤めることによつてやがて身も心も規矩に順応し、古参のように眼つき、運歩、自ずから作法に叶うようになるはずという。

今の世に、また、僧堂ぐらい上下差の厳格なところも少なからう。古い先輩を末単・中単・高単と分けるが、十年、二十年と修行の進んだ超古参は評席と呼ばれる重役。この序列はすべて年功で、年齢、学歴、出身はいつさい問題でない。一日早ければ一日の長として仕えねばならず、師家や大衆に關してもまた一念の不満もあるべきでない。あれば道場を去ればよい、去る者を追う者は誰もおらぬ。



圓福寺の開板

右は、圓福寺の開板です。火災のおりに、吊るしてあった綱が焼け切れたために下に落ちていました。焼け跡も痛々しいですが、樺の固い材でできていたので、なんとか焼け残ったようです。

耕雲寺で続けている坐禅会が始まるたびに打ち鳴らしています。最初は、叩くたびに炭化したところが飛び散っていました。が、今ではそんなこともなく、耕雲寺の境内にカーンカーンといい音を響かせています。

伽藍再建工事が終わったら、ふたたび圓福寺の本堂にかけようと思っています。

バクチと母と

恩山寺の山門をくぐると、いかにも遍路道といった感の参道を通ります。すぐ隣に車道が整備されていて、落ち葉だらけの参道を通るお遍路さんもいないのでしよう。伽藍にたどり着く前の大きな大師像も、車道からやってくる遍路たちを迎えるように立っています。つまり、歩きのお遍路さんたちは、お大師



十八番恩山寺本堂前にて

さんの後ろ姿、おしりにむかえられることになりませう。

参道のわきに、「ピランジユ」という珍しい木がありました。それに気づいたのは、さすが植木屋さんの神山さん。お参りのあとに、また見に行っていました。

「ピランジユ(毘蘭樹)」は別名で、「バクチノキ」だそうです。樹皮がうろこ状に剥がれ落ち、黄赤色の木肌が見えるさまが、ばくちに負けて身ぐるみはがされるのになどえて、「博打の木」といいます。

博打に負けてお寺に逃げ込んだ人が、助けてもらってお礼に植えた・・・わけではありません。

恩山寺の山号は、「母養山」といいます。弘法大師がこの寺で修行をしていたところに、大師の生母・玉依御前が讃岐の善



十八番恩山寺参道

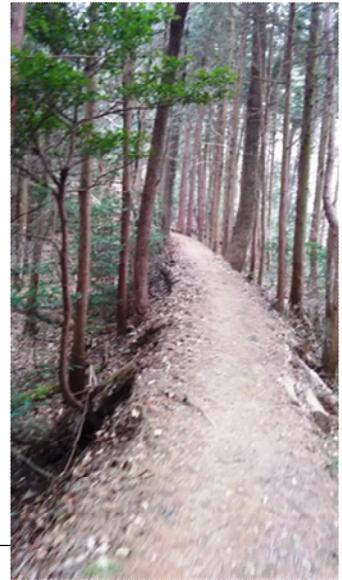
通寺から訪ねてきた。だが、寺は女人禁制、大師は山門近くの瀧にうたれて十七日間の秘法を修し、女人解禁の祈願を成就して母君を迎えることができた。やがて母君は剃髪をして、その髪を奉納されたというので、山号になったといえます。大師堂の右手前に、「弘法大師御母公御剃髪所」という石碑が建っていました。

「バクチノキ」といい、「母養山」といい、母親への思いを新たにし、母に恥じない生活をしていくか自問するお寺かもしれません。

藤井寺を出発して急坂を登りきって、「端山休憩所」、さらに登って、「長戸庵」。雨戸が閉め切られた柳水庵の下の休憩所で一休。ここから再びの登り。



焼山寺へのへんろ道のオアシスだった「柳水庵」がすたれていくのはさびしい限り！隠居したら住みたくなるような山寺です。就活しようかなあ。



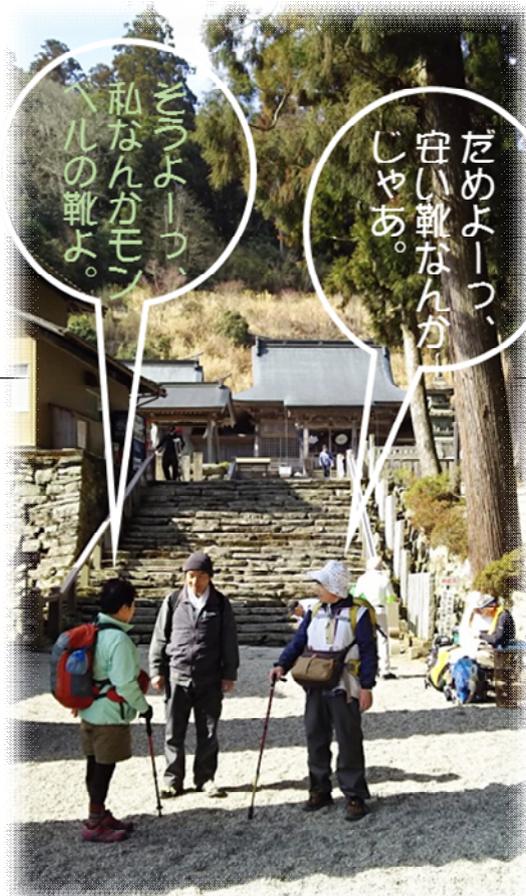
昼食は左右内集落に降りたところに東屋があるからと思っていたら、鶴林寺と太龍寺の間にある水井の休憩所と思い違いをしていて、結局、森の中に散在して冷たいおにぎりをはおぼることに…。申し訳ありません。

誰が整備したのか馬の背のへんろ道。昔は「一本杉庵」って言ってた、今日の最高地点七四五mの「浄連庵」、大きな大師像がお出迎え。残雪は見当たらず。



七時十分藤井寺出発。八時四十分長戸庵まで、六五二一歩。柳水庵九時三十五分、一一五六四歩。十時四十分一本杉庵(浄蓮庵)着。十二時五十分、十二番焼山寺着。二二〇三三歩。なお、歩数は神山さんの歩幅によります。

お参りを終わると、神山さんが靴の修理を始めました。先輩遍路の広渡さんが、紐で縛って応急処置を手伝ってあげていました。ご主人譲りの親切さを発揮かな・・・。



そうよーっ、私なんかモンルの靴よ。

だめよーっ、窄い靴なんかじゃあ。

いざ出発ですが、ここから約一時間の長い下り坂となります。



アドバイスなのか、お説教なのか、はたまた自慢なのか、神妙に聞く神山さんでした。

「ひやり、路線バスの旅」

小松島に宿を取ったのは、鶴林寺の麓に行く路線バスの都合でした。なにしろ朝のバスを逃したら、二時間も待たなければなりません。昼食をコンビニで購入して、そうそうにバス停で待つことにしました。ところ



が、時間になってもバスは来ません。まあ、田舎だからのんびりしてるんだろうとは思いつつも、しびれを切らした人が問い合わせ先に電話をすると、日曜日でお休みとのこと。
どうしようか思案しているのと、反対側から走ってきたバスが、いきなり交差点でUターンして、私たちのバス停にやってきました。「すみませ〜ん。」と若い女性の運転手。曰く、道を間違えて駅の方に行ってしまった、私たちのバス停の一つ先まで行って、通り過ぎたバス停にお客さんがいないか確認すると、私たち一行がいたので、わてて戻ってきたとのこと。昨日、彼氏とけんかでもしたんじゃないのか、さんざんからかわれて、にぎやかな車内となりました。

気がついて戻ってきてく

れたからいいものの、そのままにされたら私たちは夕方になつた。「ひやり、路線バスの旅」でした。

鶴林寺裏街道

鶴林寺への今回の道は、通常の名からではなく、少し先の棚野バス停からの裏街道を歩くことにしました。この方が、歩く距離二・二kmと少し短く感じました。川沿いの百mほどを過ぎると、あとは標高差四六〇mほどのひたすら登りです。どっちが良かったかは、「？」裏街道だけあって、いきなり鶴林寺の仁王門が山道の先に出てるといった感じでした。



二十一番太龍寺への遍路道

バス停で次第に不安を募らせる面々



遍路、山あり谷あり

鶴林寺でお参りを終え、境内から杉木立の向こうに海が見えたのはうれしくなりました。こんなに登ったのかと、喘ぎながら登った自分をほめたくなっ

たからかもしれません。さて、太龍寺へはここを下りなければなりません。足元につづく段差の大きな石段を見て、なかなか足が踏み出せないほど、鶴林寺の下りの石段のきつかったこと。あの山中に石段を組む労力はとてつもないことですが、せめてもう少し段差を低くしていただければ・・・と思うのは、私だけででしょうか？いえいえ、かつては飛ぶように下りられたのですから、加齢と膝の痛みがそう思わせるのです。

ようやくにして、下りきったところにある大井の休憩所には、テーブル・ベンチはもちろん、ソファまで置いてあり、快適にランチタイム。那賀川を渡って、しばらく溪流沿いの道を行きます。山の登り口にお屋敷の廢墟があり、かつてこの山奥にどんな人がどんな生業をして生活していたのか、興味がわきます。昔の歩き遍路が、もしかして一宿の願いをしたかも

しれないとの思いを麓に残して、ここからは山中の登り四七〇mほど、鶴林寺と太龍寺を合わせて、この日は九三〇m登ったことになりました。

鶴林寺への急な登りと、石段の急な下り、大井休憩所の居心地の良さなど、人生、山あり谷あり。あるき遍路も、加齢に伴うつらさがあったり、逆に年に見合った喜びがあったり、「人生即遍路」とはよく言ったものだ、これからは遍路は続くのでした。



住職手作りのわらじ。二回目でこんな感じになります。さて、何回目まで使えるでしょうか？

三巡目
参加者募集中
四国あるき遍路の旗

今から千二百年昔、真言宗の開祖弘法大師が四十二歳のときに人々の災難を除くために開いた八十八の霊場。その霊場を辿るのが、四国遍路や巡礼と言われています。今も訪れる人は多いものの、バスやタクシーに乗り、宿坊・へんろ宿は敬遠され、物見遊山のご朱印集めの旅行に姿を変えつつあります。

圓福寺の遍路は、臨済宗の行の中の「歩くこと」に主眼を置いたもので、「あるき遍路」と銘打っています。そして、何回も歩いている住職が先達（案内人）として、雲水姿と一緒にですので、安心して参加できます。日数も、土日を使った三日間の旅程にして、参加しやすくしております。

様々な願いとともに心の修行を重ねる三日間の歩き旅は、きつとなにかの変化をもたらしてくれそうです。それを功德というのかもしれませんが。



三巡目第二回の予定

【日程】

平成二十九年十一月十七日(金)
 ～十九日(日)

【旅程】

一日目、修験道の聖地「剣山」(一九五五m)をお参りして、徳島駅前泊。
 二日目、太龍寺の麓まで路線バスで移動して、二十二番平等寺と徳島最後の札所二十三番薬王寺参拝。
 三日目、電車・路線バスで、室戸の二十四番最御崎寺参拝。高知龍馬空港から帰路。

【参加費】約五～六万円を予定

【問い合わせ】なんなりとお寺まで



空海が開眼した「御厨人窟(みくろど)」

歩き遍路指南

歩く時期

毎年二月と十一月に歩きます。この時期は、草が生い茂ることもなく、虫や蚊もおらず、殺生をせずに歩くことができます。なので、遍路の適期と言えます。十四～十五回で八十八ヶ所を結願予定で、七～八年を要する計算になります。

歩き遍路の費用

毎回五万円前後の参加費を予定しております。納経料と飲み物など以外はすべて含んでおります。

歩き遍路を始める前に

一日に十五～二十五kmぐらい、三日間では四十～六十kmぐらい歩きますので、あるき遍路前には多少歩くトレーニングをしてください。慣れるまでには、足に水ぶくれやマメができることがあります。なので、靴は履きなれたものに限ります。

歩き遍路の持ち物

荷物は、リュックで背負ってください。荷物の重量は、五～八kgに納めるのが望ましいです。とはいえ、重くても自己責任ですから自由ですが・・・。服装は、歩き重視ですから、特にお遍路さんの装束でなくて構いません。巡拝用品は札所で揃えられますので、四国に行つてからでも間に合います。

(どうしても広い区画をご希望の方は、お寺までご相談ください。)

- 【広さ】 五尺(一五〇cm)×三尺(九〇cm)
- 【区画数】 二区画
- 【永代使用料】 一〇〇万円
- 【墓地管理費】 年三千元
- 【花園会費】 年一万円

墓地を移転される方がいらして、空きができました。ご希望の方は、お寺までお申し出ください。

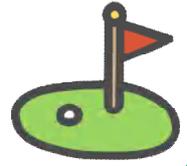
墓地の空きがあります。

第42回花園会ゴルフ大会

5月18日 於：千葉国際カントリークラブ

	お名前	グロス	ハデイ	ネット
優勝	神山 孝夫	87	14.4	72.6
準優勝	常世田 政信	93	20.4	72.6
3位	佐藤 征吾	96	22.8	73.2
4位	松丸 正憲	96	22.8	73.2
5位	矢野 剛三	100	26.4	73.6

第四十二回の大会は、五月十八日に、千葉国際CCで開催されました。新ペリア方式で、十二名が競いました。成績は表の通りです。いつも通り、参加費と罰金の中から、日本赤十字社に災害義援金を贈らせていただきました。



自分らしい書 常に心がけ



岩間清泉さん (74) 産経国際書会だより

上田桑鳩門下で、産経展創設メンバーの一人だった故佐野丹丘氏のまな弟子。産経展は特選に輝いた第1回展から連続出品、副理事長を務める今日まで、書会の運営を支え続けている。「今日たたいま生きている命の証しを書け」というのが佐野先生の教え。常に自分らしい書を書くことを心がけています」

静岡県沼津市出身。小学生のときから自宅近くの書道教室に通う。沼津西高で書道教師をしていた佐野氏と出会ったことが本格的に書を学ぶきっかけになった。卒業前から奎星展などに出展。金星賞2回、毎日展秀作4回など入賞を重ねた。

書の奥深さに魅せられたのは、年に数回、師の自宅で行われていた上田桑鳩の錬成会。墨すりの手伝いをしながら、桑鳩の自由自在な筆遣いを目のあたりにし、白と黒の世界の無限の可能性に魅了された。

24歳で結婚。夫の5度の転勤と3人の子育との間は小休止したが、復帰後は国際交流に尽力した師とともに東洋書人連合で海外展25回を経験。実行委員長を務めた2010年のトルコ展では、アンカラ大学で講演も行った。

6月14日から18日まで、尚友会の65周年記念書展を沼津市のプラザ ウェルデで開催する。

「毎日変わっていくのが書。自分らしい書を書き続けたい」

第33回産経国際書展 出品作品「豊」(縦180×横90cm)

◆◆檀信徒の動静◆◆

産経新聞より

平成28年度花園会会計報告

平成28年4月1日～平成29年3月31日

	科目	金額	備考
歳入	前年度繰越金	44,506	
	お寺より活動費	1,535,000	
	行事収入	1,668,590	年越しまいり、地藏盆、禅童会・新年会・写経会などの参加費を含む
	雑収入	10,003	彼岸法話会東京教区補助金・預金決算利息
	歳入合計	3,258,099	
歳出	宗派賦課金	173,500	本山納付花園会費、災害見舞金ほか
	行事費	2,320,827	年越し参り・地藏盆・禅童会・土曜会・写経会・ご詠歌ほか
	事務費	349,685	事務謝礼、行事案内状の印刷費・郵送料など
	会議費	210,860	月例役員会ほか
	研修費	15,000	東京教区第7部役員研修
	慶弔費	0	
	寄付金	15,000	花園会ゴルフ大会から「鳥取中部地震災害義援金」として。
	雑費	0	
歳出合計	3,084,872		

剰余金の¥173,277は次年度繰越金としました。

人間の証明

(6月の「園だより」から)

今年の春たんけんは、ネイチャーランドの有名人「カトーさん」からもち米の差し入れしていただいたので、畑の絹サヤを収穫して、春らしい絹サヤおこわがメニューに加わり、格別なごちそうになりました。お家に帰ってからの子どもたちの反応は、いかがだったでしょうか。

今年の年長さんは、お茶の葉っぱから抹茶を作る活動に取り組んでいるので、ネイチャーランドだけでなく、途中から約二・七km歩いて、お茶の木探しをすることにしました。その



距離がどれくらいか

というと、

幼稚園から

稲毛駅を通

り越して十

四号にたど

り着きま

す。北に向

かえばイオ

ンタウン長沼の入口、市内に向

かえば椿森陸橋、畑町方面だと

東関道を軽く超すほどの距離で

す。地図を頭に浮かべると、年

長さんの足もあなどれないなと

思いました。お茶の木を探すと

いう目的と、仲間がいればこそ

歩けたのだと思います。緑豊か

で、交通量のない場所でこそこの

活動でもありました。

つい数年前に、四つん這いで



途中の畑で、お茶の葉を摘ませていただきました。

ハイハイして、つかまり立ちから二本足でよちよち歩きをした子が、数キロの道を歩けるようになりました。二足歩行できる人間の証明をしてくれました。これから何十年もの間、その二本足で歩いていくんだよ、と励ましてあげたくなりました。

真っ赤な顔をしてたどり着いたネイチャーランドの原っぱで食べた、絹サヤおこわと春野菜のお味噌汁の味は、格別だったに違いありません。子どもたちが作ってくれた新茶をごちそうになりました。香りが豊か、香り豊かな格別な味でした。抹茶も、いまから楽しみです。



地鎮祭



年長さんがみんなの代表をして、
献灯・献花をしました。



安全第一で、無事に工事がおこなわれることを願って・・・
餅入れの様子なども、みんなで見せていただきました。

【エイ！エイ！ エーイ！】

と餅を入れるごとに、拍手をして喜びました。



おしまいに園長先生から・・・

「今日はみんなさんありがとうございました。チャーンと座って、お礼を言ってくれたね。」と褒めていただきました。



地鎮祭に参加して、初めてのことが沢山あったかもしれませんね。興味津々でじ〜っとお話を聞いていた子どもたち。

これからお寺が建っていく様子を間近で観ながら、完成を楽しみにしたいと思います。

私ががじった
おいは、
ご利益があるぞ！



幼稚園でまとめた「地鎮祭」の様子です。

地鎮祭（6月30日）

一同着座・導師入場

- 1 「獅子舞」奉納
- 2 園児代表献灯献花
- 3 導師焼香三拝
- 4 三卷心経・消災呪・地鎮回向
経中、参列者焼香礼拝
- 5 地鎮の儀
- 6 住職挨拶

曇り空から時折ポツリポツリと雨が落ちてくる天気でしたが、梅雨真っ最中には好天と言える中、午前10時から伽藍再建工事の地鎮祭を執り行いました。

地鎮祭に先立ち、船蔵尚一さんご夫妻による「獅子舞」の奉納をしていただきました。読経、ご回向ののち、地鎮の儀が執り行われ、

○刈初の儀・・・鎌を使って敷地の草を刈りはらう・・・を、圓福寺役員代表で福田和夫さん

○穿初の儀・・・鍬を使って土を掘り起こす・・・を、菅野企画設計社長の菅野良司さん

○穿初の儀・・・鋤で地面をならす・・・を、松浦建設社長の松浦弥さんがそれぞれ掛け声とともにしてくださいました。

いよいよ、着工の運びと相成りました。



6月30日幼稚園のお隣りにありま
圓福寺の地鎮祭が行われ、子ども
を列させていただきました。

始まりは、軽装なお囃子にのせて、
獅子舞が音鳴しました。



お囃子をしたり、じゃがもちやみかんを
食べた加て、かわいい・親しみやすい舞
台装でしたが・・・



近づいてみると、大きくて、目がぎょろっとし
ている様子に驚いて、思わずのけぞり椅子
からごらん！

獅子舞に唄んでもらうと、悪いことや病気が
から守ってくれる「ご利益がある」と言われて
いますから、泣いてもがまんがまん！

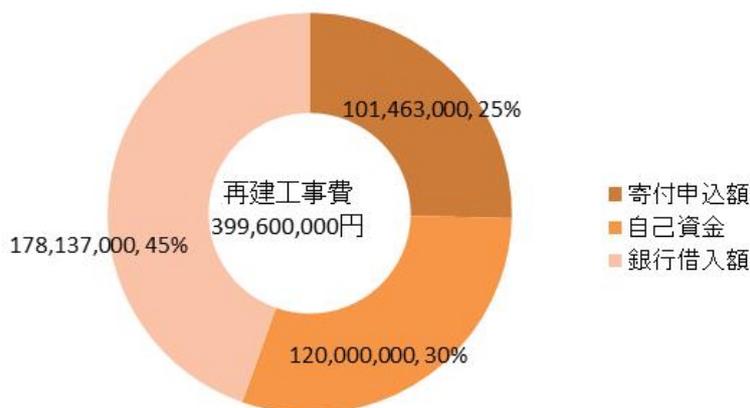
ご寄付の途中経過

7月10日現在のご寄付状況は、右のグラフの通りです。

ご寄付のお申込み額が、1億円の大台に乗りました。みなさん、様々な出費がおありの中を、圓福寺伽藍再建のためにご寄付をいただき、本当にありがとうございます。ご寄付申込額が増えれば、銀行借入額が減るグラフになっていますが、銀行借入額が減れば減るほど圓福寺の後継者の負担が軽減されるということで、みなさんのご高配を深く感謝申し上げます。

仏像仏具の篤志寄付の方も徐々に増えてきております。本尊様はじめ仏像は篤志寄付で揃えることができますが、仏具関係は「安物買いの・・・。」とならないように徐々に揃えていくのもいいかなと思っております。

資金計画進捗状況



仏像仏具篤志寄付途中経過

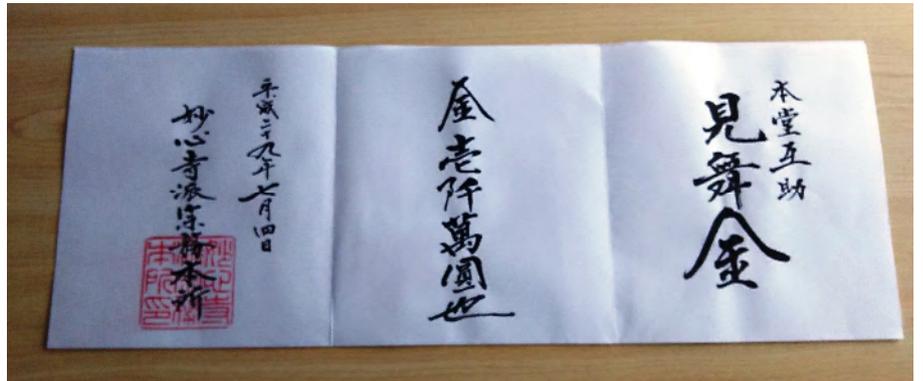


いずれも、平成29年7月10日現在

大本山見舞金拝受（7月4日）

7月4日、妙心寺派宗務総長さんがじきじきにお見えになり、役員一同がお迎えをして、本堂互助見舞金目録を拝受いたしました。

全国の妙心寺派寺院からのお見舞いを本山が取りまとめて下さったもので、心身ともに引き締まる思いが致しました。



寄付逸話（Nさんからのお手紙）

仏具篤志寄付のお申込とともに、お手紙が添えられていました。

「再建費用につきましては、先に振込いたしました。その後息子と相談しましたところ、これから二代目としても長くお付き合いをお願いすることとしますので、何かご協力できないかと考え、『仏具篤志寄付』の形で寄付をさせて頂きたいと考えました。

愛媛県で生まれ就職し、市川で家庭を持ち生活をしていましたが、18年前交通事故で家内を亡くし、菩提寺をいろいろ探しましたが、臨済宗のお寺様を見つけることができませんでした。当時の電話帳などを調べた中で、『お地藏様のお寺』として貴圓福寺様を知り、お邪魔してご住職様のお話を伺い、お人柄など含め安心してお願いできるお寺と確信しました。

それからの毎年の行事などでお寺の重要性を更に感じ、当時の判

断に間違いがなかったと、安心していました。

そのような中、突然の火災焼失による喪失感と失意は非常に大きなものでしたが、その後の貴ご住職様の再建に対する熱意ある行動には感服いたします。

愚息と共に少しでも何かご協力できればと考え相談した結果、息子のできるだけの寄付をと考えました。

ほかの方々に含め、今後の再建に協力できる機会を得ましたことも、良いご縁と考え、今後とも宜しくお願い申し上げます。」

身に余るお言葉もいただき、なんとも面映ゆいのですが、本当にありがとうございます。境内のわらべ地藏たちも、工事期間中は市原別院に避難いたしますが、再建後に戻ってきて、再びみなさんに微笑みかけることと思います。



工事 工程表

平成30年								
1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
10 20	10 20	10 20	10 20	10 20	10 20	10 20	10 20	10 20
							残材片付清掃検査	
					足場解体			
部下地								
				シート防水、シーリング				
							石工事	
							タイル工事	
屋根下地	外部		内部下地		造作			
		屋根工事						
					金物		取付	
					左官			
							木製建具建込	
	サッシ取付						調整	
			硝子入れ					
				吹付			塗装	
							内装	
							雑工	
線								
管							器具付	
							山門	
							外構	
1/27幼稚園 バザー		3/17卒園式						
		上棟式						

松浦建設株式会社

宗教法人 圓福寺 本堂・書院・庫裡 新築

年 月	平成29年													
	6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月	
工種	10	20	10	20	10	20	10	20	10	20	10	20	10	20
共通仮設工事	地鎮祭		アバト 仮囲		現場事務所									
	地縄・近隣挨拶		施工図											
解体撤去工事			仮囲部分解体		[P]塀解体									
直接仮設工事			遣方・杭芯								足場組			
土工事					根伐									
杭打工事					杭打工事									
コンクリート工事									コンクリート					
型枠工事									型枠					
鉄筋工事									鉄筋					
鉄骨工事			施工図		材料				加工		アンカーセット	建て方		外
防水工事														
外壁工事														
石 工事														
タイル工事														
木 工事														
屋根工事														
金属工事														
左官工事														
木製建具工事														
鋼製建具工事														
硝子工事														
塗装吹付工事														
内装工事														
雑工事														
電気設備工事			仮設電気						仮設電気					配
給排水設備工事			仮設水道						仮設水道					配
山門新築工事														
外構工事								擁壁						
※幼稚園送迎バス	6/16契約		7/19御施餼鬼		8/11～16お盆						11/1幼稚園		12/9,10,11	
8～10時、14～16時	6/30地鎮祭		7/13～16お盆		8/26地藏盆		お彼岸				願書受付		幼稚園参観日	
			7/18、19		8/22～25						11/8千葉市		12/15餅つき	
			園宿泊体験								幼稚園視察		12/16檀家	
											120人程度		歳末清掃	
			地鎮祭											

見積書精査比較表 (その3)

H.諸経費 (経费率)	¥37,798,457 9.99%	¥47,118,000 11.06%	¥19,500,000 5.04%
合計	¥416,000,000	¥473,000,000	¥406,033,637
出精値引 (値引率)	0.00%	0.00%	¥-38,033,637 -9.37%
改め計	¥416,000,000	¥473,000,000	¥368,000,000
消費税	¥33,280,000	¥37,840,000	¥29,440,000
総合計	¥449,280,000	¥510,840,000	¥397,440,000

石工事 総額	¥6,434,257	¥5,732,000	¥4,923,770
¥6,748,230 (税別) 石工中島市郎			

※修正・見直し、変更による増減

修正・見直し			¥3,500,000
確認申請による変更	¥-7,000,000		¥340,000
改め計	¥409,000,000	¥473,000,000	¥371,840,000
消費税	¥32,720,000	¥37,840,000	¥29,747,200
総合計	¥441,720,000	¥510,840,000	¥401,587,200

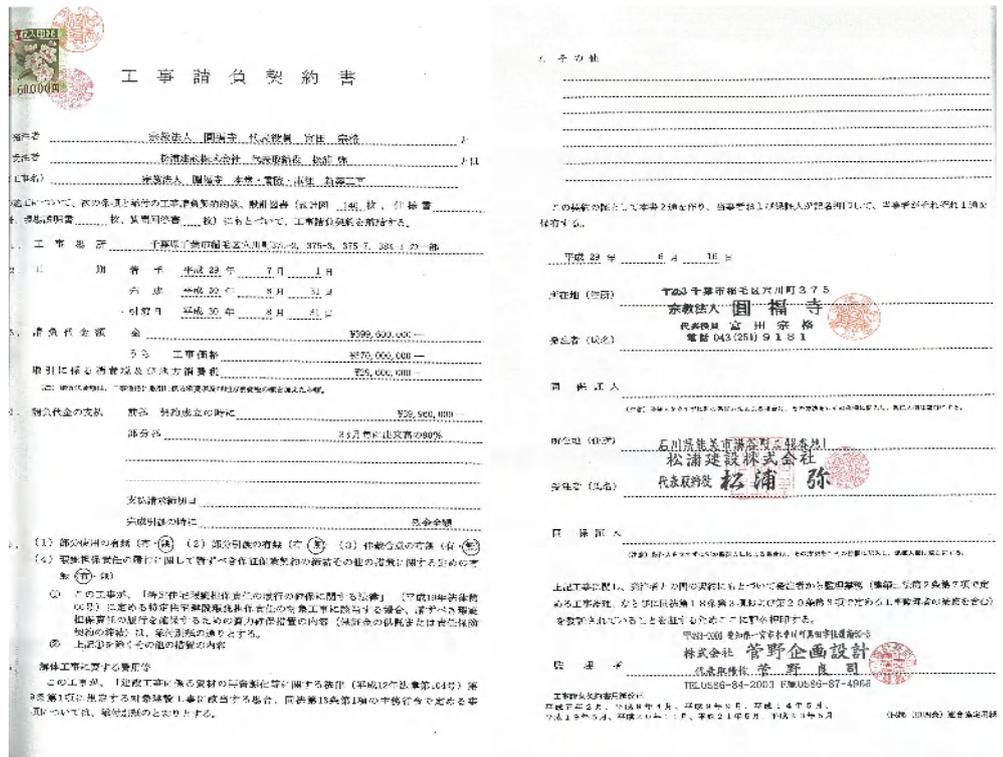
施工会社の決定 (6月13日) と工事契約 (6月16日)

見直し・修正された見積書を比較すると、工事費合計で中島工務店さんと松浦建設さんとに大きな差はなく、1割近く値引きして下さった松浦建設さんを圓福寺伽藍再建工事の施工会社とすることを役員会で決定いたしました。さらに、役員さんから工事費合計の端数を切り捨ててもらった案が出され、菅野企画設計さんが交渉してくださり、工事費合計が¥370,000,000、消費税込みで¥399,600,000となり、その場で松浦建設さんをお願いする旨を連絡いたしました。

ほかの二社には、おことわりのお手紙をお送りいたしました。

日を置かずに、6月16

日に工事請負契約を取り交わし、前払い金を振り込ませていただきました。工事契約書は、下記の通りです。



見積書精査比較表（その2）

C.書院・庫裡新築工事				150,214,704	160,257,000	148,686,844							
1	直接仮設工事			¥9,262,300	¥7,324,000	¥7,848,310							
2	土工事												
3	杭工事												
4	コンクリート工事			¥20,757,330	¥23,594,000	¥23,206,574							
5	型枠工事												
6	鉄筋工事												
7	鉄骨工事			¥22,472,519	¥34,222,000	¥22,889,297							
8	外壁工事			¥1,721,135	¥5,091,000	¥1,569,600							
9	防水工事			¥1,969,810	¥1,973,000	¥1,779,865							
10	石工事			¥712,576	¥572,000	¥475,040							
11	タイル工事			¥1,914,800	¥1,424,000	¥1,515,680							
12	木工事			¥42,510,780	¥46,350,000	¥38,902,580							
※枠・敷居は杉と米松で見積りされている。													
13	屋根工事			¥9,463,440	¥1,996,000	¥10,268,248							
14	金属工事			¥2,305,060	¥2,089,000	¥1,805,644							
15	左官工事			¥2,743,350	¥1,639,000	¥2,139,290							
16	木製建具工事			¥7,653,100	¥5,638,000	¥8,272,380							
※数量の足りない物がある。				※単価が安い									
	S104	1	カ所	¥204,200	¥204,200	2	カ所	¥163,200	¥326,400	2	カ所	¥176,000	¥352,000
	WW101	1	ヶ所	¥235,700	¥235,700	1	ヶ所	¥10,800	¥10,800	1	ヶ所	¥162,000	¥162,000
	運搬取付費			建具単価に含む			1	式	¥642,720	1	式	¥490,000	
17	金属製建具工事			¥2,503,100	¥3,760,000	¥4,216,010							
※単価・施工費が高い													
	AW111	1	ヶ所	¥66,400	¥66,400	2	ヶ所	¥107,690	¥215,380	2	ヶ所	¥148,480	¥296,960
18	ガラス工事			¥881,780	¥1,037,000	¥678,936							
19	塗装工事			¥2,031,101	¥2,087,000	¥2,283,750							
20	内装工事			¥9,975,623	¥11,995,000	¥9,842,140							
21	雑工事			¥11,336,900	¥9,466,000	¥10,993,500							
D.山門新築工事				¥11,996,440	¥15,202,000	¥13,186,911							
1	直接仮設工事			¥271,600	¥845,000	¥850,000							
2	土工事												
3	コンクリート工事												
4	型枠工事			¥480,180	¥754,000	¥770,777							
5	鉄筋工事												
6	石工事			¥850,250	¥126,000	¥665,160							
7	木工事			¥6,936,500	¥9,006,000	¥5,600,358							
				木材費:桧上小節 ¥59万円/m ³									
				木材費:米ヒバ上小節 ¥30万円/m ³									
				:桧上小節 ¥32万円/m ³									
8	屋根工事			¥2,208,510	¥2,966,000	¥3,044,336							
9	左官工事			¥97,400	¥38,000	¥86,280							
10	木製建具工事			¥1,081,600	¥1,295,590	¥2,050,000							
11	塗装工事			¥70,400	¥86,000	¥30,000							
12	雑工事				¥85,410	¥90,000							
E.外構工事				19,433,449	20,857,000	18,154,387							
1	舗装工事			¥5,057,080	¥4,487,000	¥5,035,650							
2	囲障工事			¥6,755,189	¥6,780,400	¥7,290,644							
3	建具工事			¥342,300		¥451,000							
4	石工事			¥4,622,940	¥4,672,000	¥3,620,450							
5	金物工事			¥149,700		¥446,600							
6	待合			¥1,108,850	¥2,238,000	¥574,623							
7	雑工事			¥1,397,390	¥2,679,600	¥735,420							
F.設備工事				35,419,090	43,500,000	51,837,100							
F-1.電気工事				¥10,820,980	¥14,300,000	¥15,567,100							
F-2.給排水衛生設備工事				¥13,280,520	¥15,700,000	¥18,976,000							
F-3.空調設備工事				¥11,317,590	¥13,500,000	¥17,294,000							
G.解体撤去工事				¥5,563,460	¥5,270,000	¥2,803,675							
1	仮設養生			¥433,700	¥41,660								
2	解体撤去			¥4,902,760	¥2,768,275	¥1,853,675							
3	処分				¥2,460,065	¥950,000							
4	移設			¥227,000									
計				¥378,201,543	¥425,882,000	¥386,533,637							

見積書精査比較表（その1）

提出された見積もりは、材料の過不足のチェックや、適切な見積もりなのか、実施可能なものかなど、菅野企画設計さんが精査し、必要な場合は建設会社に修正をお願いしました。

具体的な修正点としては、本堂の欄間の漆塗りが未計上であったり、書院の木工事で檜の予定のところは杉・米松を使用

していたり、木製建具の数量が不足していたりがあり、修正していただきました。そこで、会社により、当初見積もりより700万円の減額があったり、逆に380万円ほどの増額があったりしました。

修正・見直しをした見積書の比較表が、下記の通りになります。

「宗教法人 圓福寺 本堂・書院・庫裡 新築工事」見積比較表 H29.06.13 (株)菅野企画設計

A.共通仮設工事		¥7,651,100		¥20,894,000		¥11,352,400	
B.本堂新築工事		¥147,923,300		¥159,902,000		¥140,512,320	
1	直接仮設工事	¥6,679,900		¥5,992,000		¥6,264,860	
2	土工事						
3	杭工事						
4	コンクリート工事	¥18,465,170		¥22,034,000		¥23,552,992	
5	型枠工事						
6	鉄筋工事						
7	鉄骨工事	¥15,493,893		¥23,435,000		¥15,919,662	
8	外壁工事	¥962,580		¥1,475,000		¥1,000,000	
9	防水工事	¥375,000		¥385,000		¥223,200	
10	石工事	¥248,491		¥362,000		¥163,120	
11	タイル工事	¥66,000		¥72,000		¥113,600	
12	木工事	¥69,307,510		¥61,360,667		¥48,352,980	
		木材・大工手間込		木材費:米ヒバ上小節 ¥44万円/m ³		木材費:米ヒバ上小節 ¥33万円/m ³	
		米ヒバ上小節 ≒125万円/m ³		:桧上小節 ¥46万円/m ³		:桧上小節 ¥43万円/m ³	
		桧上小節 ≒180万円/m ³		大工手間:¥28,6617,000-		大工手間:¥21,670,000-	
						(本堂:30万円×63坪、その他:10万円×27坪)	
13	屋根工事	¥16,140,750		¥24,161,000		¥22,660,728	
14	金属工事	¥61,200		¥1,578,000		¥134,400	
15	左官工事	¥3,712,850		¥3,190,000		¥3,566,640	
16	木製建具工事	¥5,413,200		¥4,534,000		¥5,053,800	
17	金属製建具工事	¥2,820,800		¥2,987,000		¥5,964,530	
						※単価・施工費が高い	
	AW1	1ヶ所	¥442,000	1ヶ所	¥247,750	1ヶ所	¥600,000
	AW5	1ヶ所	¥44,300	1ヶ所	¥105,740	1ヶ所	¥189,850
18	ガラス工事	¥990,440		¥491,000		¥1,057,098	
19	塗装工事	¥2,360,632		¥2,033,000		¥1,541,050	
						※竹の節欄間の漆塗り未計上	
20	内装工事	¥3,534,384		¥4,682,083		¥3,100,270	
				※軽量鉄骨が高い		※畳等の単価が安い	
	スタイロ畳	61帖	¥15,300	61帖	¥8,800	64帖	¥10,000
			¥933,300		¥536,800		¥640,000
21	雑工事	¥1,290,500		¥1,130,250		¥1,843,390	
						※家具が高い	
	家具 洗面台	2ヶ所	¥155,000	2ヶ所	¥222,750	2ヶ所	¥300,000
			¥310,000		¥445,500		¥600,000

見積書開封(6月2日)

見積書の提出は、開封当日午前中まででしたが、見積もり依頼した4社のうち、1社が宮大工さんの手配ができないとの理由で辞退したために、出そろった見積書は3通でした。厳封された見積書を、役員全員同席のもと、開封いたしました。提出された見積書をまとめたものが、下記一覧表です。

金額的には1億円以上の差が出ましたが、いずれの会社もお寺のホームページを見て、予算などを知った上での見積もりとのことでした。お寺の予算に近いものとして、中島工務店と松浦建設の二社に絞り、菅野企画設計さんに見積書の精査をお願いいたしました。



「宗教法人 圓福寺 本堂・書院・庫裡 新築工事」 見積比較一覧表			平成29年6月2日
見積金額(税込)	¥449,280,000	¥510,840,000	¥397,440,000
A 共通仮設工事	¥7,651,100	¥20,894,000	¥11,352,400
B 本堂 新築工事	¥149,098,520	¥159,902,000	¥140,512,320
C 書院・庫裡 新築工事	¥150,214,704	¥160,257,000	¥148,686,844
D 山門 新築工事	¥11,996,440	¥15,202,000	¥13,100,511
E 外構工事	¥18,258,229	¥20,857,000	¥18,240,787
F 設備工事	¥35,419,090	¥43,500,000	¥51,837,100
G 解体撤去工事	¥5,563,460	¥5,270,000	¥2,803,675
H 諸経費	¥37,798,457	¥47,118,000	¥19,500,000
(小計)	¥416,000,000	¥473,000,000	¥406,033,637
値引き			(¥38,033,637)
合計	¥416,000,000	¥473,000,000	¥368,000,000
消費税	¥33,280,000	¥37,840,000	¥29,440,000

再建だより (第9号)

平成29年7月15日

臨濟宗妙心寺派 圓福寺

施工会社「松浦建設」に決定！

- ・見積書の開封 (P2)
- ・施工業者決定 (P3~P5)
- ・工事契約 (P5)
- ・工程表 (P6~P7)
- ・ご寄付の状況 (P8~P9)
- ・地鎮祭 (P10~P11)



寺院・神社・建築設計施工
国宝・重要文化財保存修理施工

義 松浦建設株式会社

俱利伽羅不動寺本堂

会社概要	
会社名	松浦建設株式会社
所在地	〒923-1104 石川県能美市湯谷町二48番地1
電話番号	0761-57-2400
FAX番号	0761-57-0493
代表者	代表取締役社長 松浦 弥
設立年月日	1969年5月2日
資本金	3000万円
従業員数	35名
業務内容	1. 国宝・重要文化財建築物保存修理工事 2. 寺院・神社設計施工 3. 一般建築物設計施工 4. 建築構造設計 5. 宅地建物取引業
建設業許可	石川県知事許可(特-21) 第2162号 平成22年2月8日
営業所登録	一級建築士事務所 石川県知事 登録第1787号 平成20年4月1日
宅地建物取引業免許	石川県知事(8) 第2017号 平成23年4月18日
有資格者	文化財建造物木工技能認定 構造設計一級建築士 一級建築士 一級建築技師 一級建築施工管理技士 宅地建物取引主任者 建築大工指導員 二級建築士 二級建築技師 二級建築施工管理技士

工事実績	
永平寺名古屋別院	法堂新築工事
金沢城石川門	保存修理工事
椿山荘五慶庵	耐震保存改修工事
熱田神宮	神楽殿新築工事
平林寺	中書院・隠寮新築
兼六園時雨亭	茶室復元新築工事
金沢大乘寺	仏殿保存修理工事
輪島時国家住宅	保存修理工事
九度山慈尊院	多宝塔保存修理工事
ほか、寺社新築・文化財修理の実績多数	

